

# 予算特別委員会の主な意見・要望

## ◆避難所の開設・運営

市職員のみでは限界があるため、地域と連携しながら体制強化を図ってほしい。また、コロナ禍等における緊急的な対応についても準備してほしい。

## ◆庁舎整備

耐震不足の解消を急ぐ必要があり、事業を前倒ししても市民サービスに影響が及ぶほどの財政面への影響はないため、今後の検討スケジュールを短縮してほしい。



## ◆観光基本計画の推進

新たにコーディネーターが配置されるため、推進に当たっては、委託する業務内容等を十分検討してほしい。また、新年度事業で制作する観光ポータルサイトについても、委託内容や運営方法などを再検討し、予算を有効に活用してほしい。

## ◆高等教育機関等との連携

学生と議員との意見交換会においても本市のまちづくりに参加したいという意見があり、行政も若者の事業参加を望んでいるため、積極的なアプローチを図り、学術的研究支援を強化してほしい。

## ◆水洗化促進キャンペーン事業

生活排水対策の啓発活動の強化に加えて、浄化槽設置整備事業費補助の上乗せ補助としての浄化槽切替奨励金も新設するため、さらなる設置推進を図ってほしい。

## ◆ふるさと寄付金・企業版ふるさと寄付金

どちらも目標金額は常に高く保ちつつ、必要に応じて他部署との連携を強化しながら、これまで以上に事業効果を高めるように努力してほしい。

## ◆子ども家庭総合支援拠点事業

虐待、不登校などの様々な子供の課題に対して、スクールソーシャルワーカー配置による相談支援を合理的に進める観点から、フローチャートなどで可視化し、各関係機関が共通認識の下で取り組んでほしい。

## ◆放課後児童健全育成事業

安心して子育てできるまち大牟田として胸を張れるよう、待機児童ゼロに向けてしっかり取り組んでほしい。また、新1年生の待機児童の早急な解消に向けて検討・対応を急いでほしい。

## ◆アウトリーチ支援員の配置

複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人に対して、時間をかけ信頼関係をつくりながら伴走的な支援を行う必要があるため、長期的な視野を持って業務委託するよう配慮してほしい。

## ◆健康づくり活動におけるウォーキング

キャンペーン時の参加者増加と保健センターの周知啓発の観点から、他部局や各種イベントと連携しながら、参加者が増加するよう鋭意取り組んでほしい。

## ◆事業所の可燃ごみの収集

近隣都市と比較すると1回当たりの収集量が突出していること、また、行財政改革の観点からも、収集の上限見直しを調査・検討してほしい。

## ◆新型コロナウイルス対策の事業者支援

新型コロナウイルス感染症の拡大から3年が経過する中で、業種によって様々な影響が出ているため、国・県の支援事業に加えて、本市の特徴に応じた支援策を講じてほしい。

## ◆動物園の魅力づくり

動物福祉に取り組む姿勢が評価されている一方で動物の数が減少するなど、リピーター確保の面での課題があるため、動物の特性や施設環境、教育の観点等も踏まえつつ、動物の確保に努力してほしい。

